

授業科目 高齢者ケアシステム論	科目概要・形式 2単位 30時間 (15コマ) 講義科目	配当年次 博士前期1年次 後期開講	オンライン参加 可
科目責任者	出貝 裕子		
科目担当者	出貝 裕子, 権 順浩, 葛西 孝幸, 工藤 英明, 古川 照美, 花田 麻由美		
1. 科目のねらい・目標 高齢者保健医療福祉制度及び政策の現状と展望についてグローバルな視点, 地域の現状について理解した上で, 高齢者と家族への具体的な支援に適用し, サポート体制を構築する実践力を養う。また, 地域包括ケアシステムの中で自施設の課題を分析し老人看護 CNS の立場から必要な取り組みを探究し, ケア改善を目指した提案ができる能力を養う。			
到達目標 [1] 高齢者に関する最新の保健医療福祉政策, 看護政策について説明できる。 [2] 我が国および世界における社会保障制度について, 高齢者に焦点を当て現状を理解し, 課題を説明できる。 [3] 修得した知識を基盤に, 実践において高齢者を取り巻くサポートシステム構築に適用することができる。 [4] 地域包括ケアシステムの現状と課題, および地域包括ケアシステムの中の自施設の現状と課題を整理し, 老人看護 CNS として必要な取り組みを提言できる。			
2. 授業計画・内容			
回	授業内容	担当者	
1	日本の高齢者保健医療制度の現状と課題	権	
2	日本の高齢者福祉制度の現状と課題	権	
3	介護保険制度 (制度の背景と課題, 青森県の現状)	工藤	
4	医療保険制度 (制度の背景と課題, 青森県の現状)	葛西	
5	世界の保健医療福祉政策の変遷と動向① (欧米圏)	権	
6	世界の保健医療福祉政策の変遷と動向② (アジア圏)	権	
7	地域包括ケアシステムを促進する機関間連携, 地域連携の現状と課題	葛西	
8	地域包括ケアシステムを促進する機関間連携の新たな試み	葛西	
9	地域包括支援センターの役割, 新たな地域づくりに向けた討議	古川	
10	機関間連携, 地域連携の実践事例への応用と老人看護 CNS に期待される調整	出貝・花田	
11	急性期治療を終え療養の場を移行する高齢者に必要なサポートの組織化の事例演習	出貝・花田	
12	高齢者のヘルスプロモーションを目指したサポートの組織化の事例演習	出貝・花田	
13	自施設のある地域における地域包括ケアシステムの現状と課題およびその中で自施設が担う役割の分析	出貝	
14	地域包括ケアシステムが有機的に機能するサポートシステムの検討	出貝	
15	地域の高齢者ケア改善のための新たなサポートシステムの提言及び全体討議	全員	
3. 教科書・参考書 (参考書) 東京大学高齢社会総合研究機構: 東大がつくった高齢社会の教科書 長寿時代の人生設計と社会創造, 東京大学出版会, 2017. 厚生労働統計協会: 国民衛生の動向 (2024/2025), 厚生労働統計協会, 2024. 厚生労働統計協会: 国民の福祉と介護の動向 (2024/2025), 厚生労働統計協会, 2024.			

4. 成績評価方法 プレゼンテーション及び討議への参加状況（40%），課題レポート（60%）で総合的に評価する.
5. 受講要件 なし
6. 社会人学生に対する配慮 必要に応じて夜間・土曜日開講，オンライン参加（ライブ）可能
7. その他